



グループごとに対話の輪が広がっていました

「やりたいことをカタチに」まちづくり講演会 地域おこしの立役者から学ぶ

3/5 小川町の宇城市ビジネスサポートセンターで、福岡県福津市活性化の立役者で「津屋崎ランチ」代表の山口 寛 さんによるまちづくり講演会が行われました。市の主催。山口さんは、「老若男女を問わず対話の場を作り、楽しみながらまちづくりに取り組んだ結果が、子どもと大人が積極的に関わり合う雰囲気にもつながっている」と始終笑顔を見せながら語りました。



入居者の古川マサミさんは安心だと話しました

災害公営住宅「^{ひびきはら}響原復興住宅^{しゅんこう}」竣工式 恒久的な住まいの確保のために

3/16 市が建設を進める181戸の災害公営住宅のうち、豊野町の「響原復興住宅」20戸と集会所が完成し、竣工式がありました。UR 都市機構からの買い取り型では県内初の完成。住宅は、県産木材などを活用する県のアートポリス事業として施工され、事業費は約6億5,000万円。2LDK と3LDK のタイプがあり、全棟南向きの平屋でバリアフリーなど高齢者などにも配慮したつくりが特徴です。

「第1回松橋かたる塾」 先輩からのアドバイス

2/28 松橋小で、児童が地域の人たちから学ぶ「松橋かたる塾」が初めて開催されました。この日は、松橋中の3年生6人が、4月から中学生になる児童たちに中学校生活の楽しさや希望を語りました。6年1組でスピーチをした高野翔さん(15)は「不安を取り除く手助けになれば」と話し、松尾桃子さん(15)は「素直さを大切に何事にも一生懸命取り組んでほしい」と期待しました。



質問タイムでは生徒会の運営方法などの質問も

「とよの公民館まつり」 集まろう！あそぼう！つながろう！

3/2 子どもたちが地域の大人と一緒に昔遊びやものづくりなどを体験する「とよの公民館まつり」が豊野公民館で開かれ、地域住民など約100人が参加しました。地域の絆を強めることを目的に市教委と市青少年育成豊野地区民会議が初めて開催したもの。竹笛やひな人形づくりのほか「素人落語つばなれの会」の落語会などもあり、子どもも大人もゆつくりと楽しい時間を過ごしていました。



竹笛づくりに夢中になりました

地域おこし協力隊「^{みずよ}宮川瑞代さん」を紹介します

宇城市の魅力発信を担う

宮川さんは、3月から宇城市の観光情報の発信を行いながら、観光資源などを活用して収益を上げる取り組みを進めています。

出身地

三角町 東京都杉並区から地域おこし協力隊として再び宇城市へ

好きなコト・夢中になっているコト

フランス旅行 フランス語 アロマセラピー



宮川さんへ質問

Q 宇城市を選んだ理由はなんですか。
A 出身地なので親しみがあることに加え、前職で培った経験を生かし、宇城市の観光事業での情報発信などで、お役に立てるのではないかと考えました。

Q 宇城市の好きなところは。

A とにかく人が優しいところ。自然豊かで星が近いところも気に入っています。

Q アピールポイントを教えてください。

A 前職で培った IT の知識やデザイン力、PR 力です。効果的な情報発信に役立てたいです。

Q どんな宇城市にしたいですか。

A 観光客が満足するだけでなく、住民も潤う仕組みを作っていきたいです。

「耳の日」にちなんだイベント「耳の日ふれあい2019」 手話によるサポートを広めたい

3/2 聴覚障がいへの理解を深めるイベントが宇土市内で開かれました。(一財)熊本県ろう者福祉協会中央支部(樫田和美支部長)と熊本県手話サークルわかぎ宇城グループ(田中みさ代会長)の共催。運転時の補聴器を題材に発表した松橋町の猿渡一徳さん(54)は「聞こえ方は人それぞれ。目視での安全確認を徹底すれば運転できる人も。多くの人の理解を促していきたい」と話しました。



うき神輿と参加者が一緒に演舞するステージも

「家族で楽しくクッキング」 親子の絆を育む

3/3 三角町の郡浦地区市民館で小学生の親子が料理作りを行いました。市青少年育成三角地区民会議の主催。この日は、9家族22人の親子が婦人会の指導で4品に挑戦。完成した料理は、地域の人と一緒にいただき、好評だった「大根の葉とちりめんの混ぜご飯」はおかわりをする子も。料理に苦戦する姿もありましたが、親子の絆や地域の人々との交流が深まったひとときとなりました。



上手に切れたかな !?